

5 財務諸表に対する注記

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・学校及び教育委員会で対策を講じているため、貸倒引当金は計上していない。

賞与引当金・・・職員の賞与の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	2,000,000	—	—	2,000,000
小 計	2,000,000	—	—	2,000,000
特定資産				
欠損補填積立預金	60,000,000	—	—	60,000,000
小 計	60,000,000	—	—	60,000,000
合 計	62,000,000	—	—	62,000,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	2,000,000	(—)	(2,000,000)	(—)
小 計	2,000,000	(—)	(2,000,000)	(—)
特定資産				
欠損補填積立預金	60,000,000	(—)	(60,000,000)	(—)
小 計	60,000,000	(—)	(60,000,000)	(—)
合 計	62,000,000	(—)	(62,000,000)	(—)

5. 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
広島市補助金	広島市	0	60,012,798	60,012,798	0	一般正味財産
合 計		0	60,012,798	60,012,798	0	